

スムージーブレンダー "ステルス" STEALTH (業務用)

blendtec

取扱説明書



このたびは、当社のスムージーブレンダー (STEALTH) をお買い求めいただきまして、 まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。

必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

もくじ

安全上のご注意	··1~6	
各部の名称 ····································	7	
据付けについて		
操作のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	···11 ~ 15	5
お手入れ	20 ~ 20	6
設定モードについて	···27 ~ 28 ····· 29 ····· 30 ····· 31	
故障の診断と手当	33 • 34	1
メニューバリエーションの例		
仕様	···· 36	
商品保証書	···· 37	

安全上のご注意

で使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください

表示と意味は次のようになっています

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定 される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生 が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

感電注意	△は、注意(警告を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
接触禁止	◇は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、◇の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
プラグを抜く	●は、行動の命令(強制)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。



アースとる

アースを必ずとること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等 の設備のある専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場 合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず 専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原 因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多い所や、水などがかかり易い、または流れてくるところに据え付けない

本体や電源コードに水がかかりますと、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原 因になります。



確認

据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認すること

モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と 回転不良の原因になります。また、漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだ りすると、電源コードが破損し、感電、ショート、火災の原因になります。



電源コードや電源プラグが破損している場合は使用しないこと

そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。

禁止

↑ 警告



点検清掃

電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、ガタのないように確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。



連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、 お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本体の各スイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグを抜く

異常時は、電源スイッチを押して「OFF」(切)にし、電源プラグを抜いて、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



ガス栓閉

ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓をあけて換気すること

本機の操作スイッチを押したり、電源プラグを抜いたりすると、引火爆発し危険です。



挿入禁止

カッターの回転中は、投入口から指、箸、スプーンなどを入れないこと

誤ってカッターに触れた場合、ケガの原因になります。 カッターや箸、スプーンが破損した場合は、異物混入の原因になります。



禁止

カッターの回転が完全に止まるまでは、容器蓋やのぞき蓋を取り外さないこと

誤ってカッターに触れた場合、ケガの原因になります。 材料が飛び散り、周囲を汚す原因になります。



容器に材料を入れるときや取り出すときは、電源スイッチを押して「OFF」(切)にし、電源プラグを抜くこと

プラグを抜く

誤って操作スイッチに触れた場合、カッターが回転してケガをする恐れがありま す。



容器の取り外しの際は、電源スイッチを押して「OFF」(切)にし、電源プラグ を抜くこと

プラグを抜く

誤って操作スイッチに触れた場合、カッターが回転してケガをする恐れがありま す。



容器内を洗浄するとき、お湯を使う場合は、必ず湯温を 45℃以下にすること

45℃を超えるお湯を使うと、モーター回転による摩擦熱で容器内が高温になり、 やけどの原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理はおこなわないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると、ショート、感電、火災など の原因になります。



改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、容器からの液漏れやショート、感電、火災の原因になります。



廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

専門業者

介注意



水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたり、かたむいていたりしますと転倒、落下に よるケガなどの原因になります。



本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショー ト、感電の原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ内部でコードに傷がつき、ショート、感電、火災の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチックが変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

本機の操作スイッチを押したり、電源プラグを抜いたりすると、発火の原因にな ります。



プラグを抜く

本体の清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを押して「OFF」(切)にし、電 源プラグを抜くこと

誤って操作スイッチに触れた場合、カッターが回転してケガの原因になります。 漏電、ショート、感電の原因にもなります。



除菌洗浄

容器内のカッター、容器、容器蓋、のぞき蓋など材料が接する部分は使用後、必 ず除菌洗浄剤で洗浄、清掃すること

除菌洗浄しないと、付着した材料が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因にな ります。



接触禁止

カッターの刃には、直接刃触れないこと

誤ってカッターの刃に触れた場合、ケガの原因になります。



防音フードカバーの開閉は、ゆっくりとおこない途中で手を放さないようにする

防音フードカバーが落ちると、指詰めの原因になります。

注意



45℃以下

容器内を洗浄するときに、お湯を使う場合は、必ず湯温を 45℃以下にすること

45℃を超えるお湯を使うと、モーター回転による摩擦熱で容器内が高温になります。容器内が高温になると、膨張した空気の影響で容器蓋が外れた場合、材料が容器から飛び出し、やけどの原因になります。



容器内を洗浄するときは、容器内に多量の水を入れないこと

カッターを回転させたとき、容器と容器蓋の間から水があふれ出ることがあり、 本体にかかると、漏電、ショート、感電の原因になります。



洗い流す

洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に洗い流すこと

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。



開放禁止

容器蓋、のぞき蓋を取り付けずに調理、洗浄時の運転をおこなわないこと

材料や水が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、 漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグを抜く

で使用後は、安全のため電源スイッチが「OFF」(切)になっていることを確認し、電源プラグを抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。

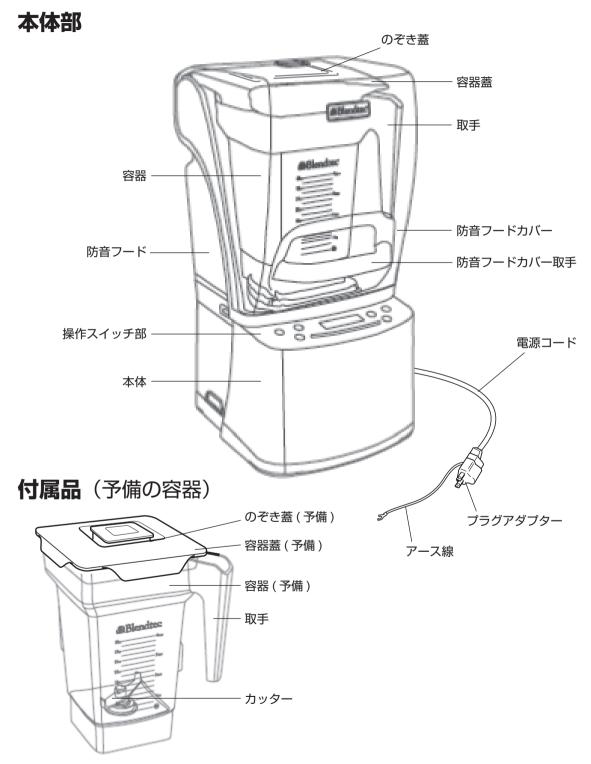


テープ止め

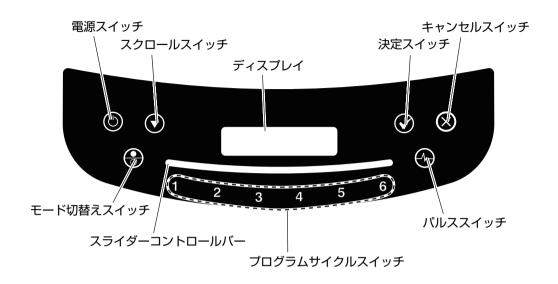
このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

各部の名称

本機は、材料(液体+食材)と氷を粉砕、撹拌し、スムージーを作る機械です



操作スイッチ部



電源スイッチ ⑥ …………… 機械の電源を ON/OFF します。

スクロールスイッチ ……… プログラミングモードでメニュー画面を切替えるときに押します。

ディスプレイ ……………… 調理中のプログラムサイクル、プログラミングメニュー、エラーメッ

セージなどを表示します。

キャンセルスイッチ ⊗ ……… 調理を途中で停めるときに押します。

モード切替えスイッチ ③ …… プログラムサイクルモードまたはマニュアルモード(スライダーコ

ントロールバー)を切替えるときに押します。

スライダーコントロールバー … マニュアルモードで調理するときに使用します。

このスイッチを操作することで、カッターの撹拌スピードを変える

ことができます。

左側は速度が遅く、右側は速度が速くなります。

プログラムサイクルスイッチ … スイッチに設定されているプログラムサイクルで調理します。

パルススイッチ ↔ ………… このスイッチを押している間(最大 90 秒間)、調理をします。

据付けについて

⚠ 警告

本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のあ る専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電 や発熱、火災の原因になります。

- 湿気の多いところや、水などがかかり易い、または流れてくるところに据え付けないこと 本体や電源コードに水がかかりますと、絶縁低下から、漏電、ショート、感電の原因になります。
- 据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認すること モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原 因になります。また、漏電、ショート、感電の原因になります。
- アースを必ずとること アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の原因になります。 電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。

<u> 注意</u>

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること 据え付ける場所が、ガタついていたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなど の原因になります。

本機は、防音フードカバーの開閉 作業に支障がないように、十分な スペースを確保してください

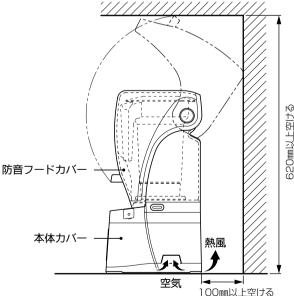
ブレンダーの後方は約100 mm以上、 高さは約620 m以 トのスペースが 必要です。

空気の流通の妨げになるものを付 近に置かないでください

本機は、本体側面にある吸気口より 空気を引き込み、本体底部にある排 気口より外部に排出します。

操作スイッチ部が正面にくるよう に据え付けてください

側面図

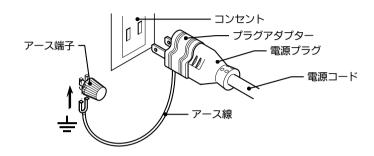


本機は、専用コンセントに電源プラグ(プラグアダプター付)を接続した場合、コードに 余裕があるように据え付けてください

電源コードの長さ: 2.0 m

プラグアダプターのアース線(緑色の線)をアース端子に接続してください

で使用の際は、本機専用のコンセントに電源プラグ(プラグアダプター付)を差し込んでください



お願い

梱包用の外箱は捨てずに保管してください。 引越しのときや修理のために発送の際にお使いください。

操作のしかた

プログラムサイクルモードを使用して調理する方法

- 1. 調理を始める前に「お手入れ」(20ページ)を参照して、容器、のぞき蓋、容器蓋をきれいに洗浄してください
- 2. 防音フードカバー取手を持って、防音フードカバーを上方に止まるところまで開けてください

⚠ 注意

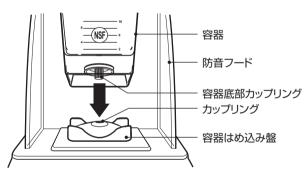


防音フードカバーの開閉は、ゆっくり とおこない途中で手を放さないように すること

防音フードカバーが落ちると、指詰め の原因になります。

3. 容器を本体にセットしてください

容器の取り付けかたは、容器の取手を持ち、 本体上部の容器はめ込み盤内のカップリング に、容器底部のカップリングが合うように乗 せてください。





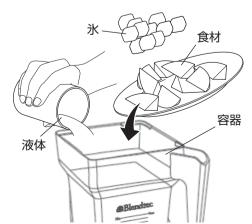
4. 容器蓋を外し、氷とお好みの材料(液体 + 食材)を容器内に入れてください

氷は、チップアイスまたは、キューブアイス(製氷機の氷)をご使用ください。

お願い

容器内には氷を先に入れてから材料 (液体+食材)を入れてください。

先に材料(液体+食材)を入れて、その上に氷を入れますと、回転したとき氷が浮き上がってうまく粉砕されず、氷の固まりが残る場合があります。



お願い

本機は、材料(液体+食材)と氷を粉砕、撹拌し、スムージーを作るブレンダーです。 必ず十分な液体と一緒に入れて調理してください。

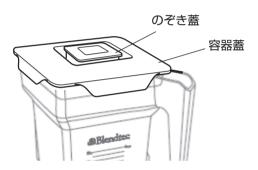
氷や食材だけの調理および、水分量が少なく粘度の高い食材、極端に固い食材はモーター に過負荷がかかり、故障の原因になりますので、絶対にしないでください。

お手入れの乾燥(約3秒間)以外では、空運転はしないでください。 材料(液体+食材)を入れずに運転すると、容器のカッター軸部が焼き付いて回らな くなるなど故障の原因になります。

氷や材料(液体+食材)は、最大 0.95L、最小 0.2L の範囲で調理してください。 氷や材料(液体+食材)の量が 0.95L を超えると、調理中に容器からあふれ出ます。 0.2L より少ないと、うまく撹拌されません。

5. 容器蓋をしっかりと取り付けてください

容器蓋にのぞき蓋をしっかりと取り付け てください。



6. 防音フードカバーをゆっくりと閉めてください

企注意



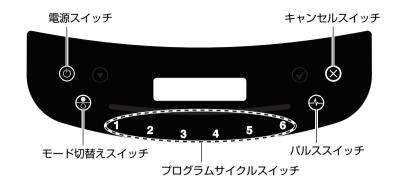
防音フードカバーの開閉は、ゆっくり とおこない途中で手を放さないように すること

防音フードカバーが落ちると、指詰め の原因になります。



- 7. 専用コンセントに、電源プラグ(プラグアダプター付)を差し込んでください
- 8. 電源スイッチ ⑥ を押して「ON」(入)にしてください
- 9. モード切替えスイッチ ® でプログラムサイクルモードを選択してください

10. お好みのプログラムサイクルスイッチを押してください



プログラムサイクルスイッチ $1\sim 6$ には、それぞれに自動変速サイクルがプログラムされています。

メニューに合ったスイッチを押して調理してください。

(プログラムサイクルは、下表の「各プログラムサイクルスイッチの自動変速サイクル (標準プログラム) を参照してください。)

パルススイッチ 🔾 は、押している間 (最大 90 秒)、撹拌スピード 7 で調理をおこないます。 パルスを使用するときは、最初にパルススイッチ 🔾 を軽く押して、パルスのモードに切替 えてから、5秒以内に再度パルススイッチ 🔾 を長押ししてください。

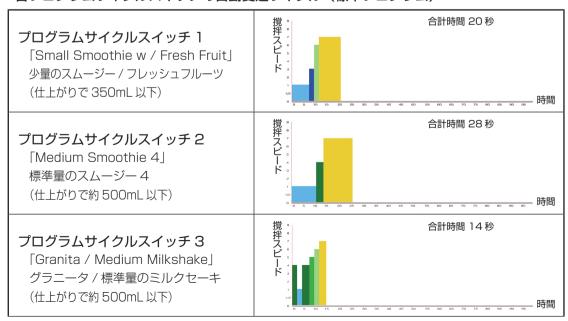
本機の防音フードカバーが閉まっていること確認してください。

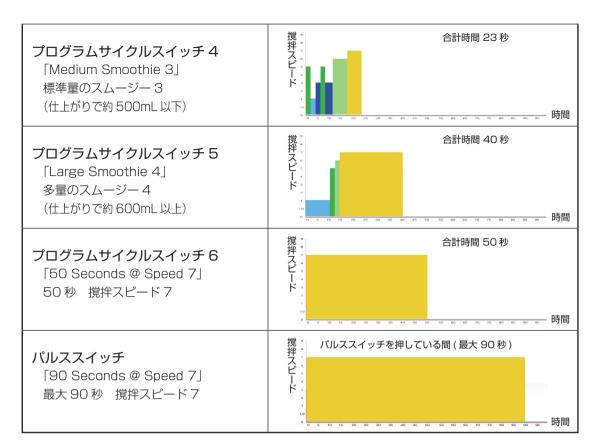
本機の防音フードカバーが開いている状態で、プログラムサイクルスイッチやパルススイッチ ① を押しても調理をおこないません。

5秒間、ディスプレイに「The lid is open. Start blender? (防音フードカバーが開いています。調理を開始しますか?)」を表示し、決定スイッチ ♥ が点灯します。

5秒以内に防音フードカバーを閉めるか、決定スイッチ ◆ を押すと、本機は調理を始めます。 5秒間、何も操作をしないと、調理はキャンセルされます。

各プログラムサイクルスイッチの自動変速サイクル(標準プログラム)





撹拌スピードと回転数(回転数は、無負荷時によるものです。)

撹拌スピード 1/2	2,100r.p.m.	撹拌スピード4	11,000r.p.m.	撹拌スピード8	18,000r.p.m.
撹拌スピード 1	4,100r.p.m.	撹拌スピード5	13,000r.p.m.	撹拌スピード9	21,000r.p.m.
撹拌スピード2	6,500r.p.m.	撹拌スピード6	14,000r.p.m.	_	_
撹拌スピード3	8,400r.p.m.	撹拌スピード7	15,000r.p.m.	_	_

撹拌サイクルが終わると、自動的に回転が止まります。

お願い

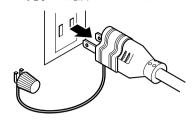
運転中に、容器や容器蓋の取り付け、取り外し、および機械の移動はおこなわないでください。

本体や容器底(外側)のカップリング部が、破損する原因になります。

メモ

工場出荷時に「プログラムサイクルスイッチ」に入力されている標準プログラムを、ご希望のスピードに合った追加プログラム(43 種類)の中から選択して変更することができます。

追加プログラムへの変更方法は、別途付属しています説明書をご覧ください。 お客様のレシピに合った、自動変速サイクルをプログラムすることもできます。 ご要望の際は、お買上店にご相談ください。 11. 調理が終わりましたら、電源スイッチ (*) を押して「OFF」(切)にし、電源 プラグ(プラグアダプター付)を抜いてください



12. 防音フードカバーを開けて容器を本体から取り外し、容器蓋を取って調理した材料をカップなどに取り出してください

容器は、取手を持ち、上方に持ち上げると簡単に外れます。

お願い

調理後は、速やかに調理した材料を他のカップなどに移してください。

調理した材料を容器内で保存することは、絶対にしないでください。

調理した材料を長時間入れたままにしておきますと、カッターのシール部に材料が流れ込むことがあります。

容器軸受け内部が錆びる原因になります。

容器軸受け内部が錆びると、回転不良の原因になります。

13. 調理した材料を取り出した後は「お手入れ」(20 ページ)を参照して、容器、のぞき蓋、容器蓋をきれいに洗浄してください

お願い

本機の専用容器以外は絶対に使わないでください。

専用容器以外のものを使用されますと、故障の原因になります。

容器は別にいくつかお買い求めいただき、容器を交互にご使用くださると容器が長持ちします。

運転中に、機械の移動はおこなわないでください。

本体や容器底(外側)のカップリング部が、破損する原因になります。

本機は、定格時間内でご使用ください。

30 分定格とは、30 分間は連続して運転できるということです。

ただし、使用上の注意として、その後30分以上は機械を休ませてください。

定格時間 (30 分間) を超えて運転をしますと、モーターが異常に過熱し、モーターの寿命が短くなったり、機械内部の部品が破損したり、故障の原因になります。

容器底(外側)のカップリング部を回しても、固くて回らなくなった場合や、カッターがぐらぐらする場合は、容器の軸受部が不良になっていますので、その容器は使用しないでください。

そのまま使い続けますと、ディスプレイに「Error: Overload Condition Detected」が表示され、カッターの回転が止まったり、ゴムパッキンが破断したりします。

ゴムパッキンが破断すると、異物として材料に混じって危険です。

マニュアルモードで調理する方法

- 1. 調理を始める前に「お手入れ」(20ページ)を参照して、容器、のぞき蓋、容器蓋をきれいに洗浄してください
- 2. 防音フードカバー取手を持って、防音フードカバーを上方に止まるまで開けてください

⚠ 注意

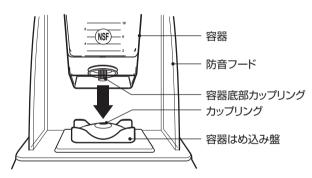


防音フードカバーの開閉は、ゆっくり とおこない途中で手を放さないように すること

防音フードカバーが落ちると、指詰め の原因になります。

3. 容器を本体にセットしてください

容器の取り付けかたは、容器の取手を持ち、 本体上部の容器はめ込み盤内のカップリング に、容器底部のカップリングが合うように乗 せてください。





4. 容器蓋を開け、氷とお好みの材料(液体 + 食材)を容器内に入れてください

氷は、チップアイス、またはキューブアイス(製氷機の氷)をご使用ください。

お願い

容器内には氷を先に入れてから材料(液体+食材)を入れてください。

先に材料(液体+食材)を入れて、その上に氷を入れますと、回転したとき氷が浮き上がってうまく粉砕されず、氷の固まりが残る場合があります。



お願い

本機は、材料(液体+食材)と氷を粉砕、撹拌し、スムージーを作るブレンダーです。 必ず十分な液体と一緒に入れて調理してください。

氷や食材だけの調理および、水分量が少なく粘度の高い食材、極端に固い食材はモーター に過負荷がかかり、故障の原因になりますので、絶対にしないでください。

お手入れの乾燥(約3秒間)以外では、空運転はしないでください。 材料(液体+食材)を入れずに運転すると、容器のカッター軸部が焼き付いて回らなくなるなど故障の原因になります。

氷や材料(液体+食材)は、最大 0.95L、最小 0.2L の範囲で調理してください。 氷や材料(液体+食材)の量が 0.95L を超えると、調理中に容器からあふれ出ます。 0.2L より少ないと、うまく撹拌されません。

5. 容器蓋をしっかりと取り付けてください

容器蓋にのぞき蓋をしっかりと取り付け てください。



6. 防音フードカバーをゆっくりと閉めてください

企注意



防音フードカバーの開閉は、ゆっくりとおこない途中で手を放さないようにすること

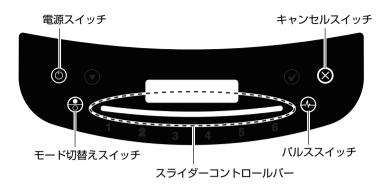
防音フードカバーが落ちると、指詰め の原因になります。



- 7. 専用コンセントに、電源プラグ(プラグアダプター付)を差し込んでください
- 8. 電源スイッチ ® を押して「ON」(入)にしてください

9. モード切替えスイッチ 🕀 でマニュアルモードを選択してください

スライダーコントロールバーが点灯します。



スライダーコントロールバーは、バーのお好みの場所を押さえると、その撹拌スピードで調理をおこないます。(最大 90 秒)

コントロールバースイッチを押さえている場所を変えると撹拌スピードも変わります。 停止するときは、キャンセルスイッチ ⊗ を押してください。

パルススイッチ 🔾 は、押している間 (最大 90 秒)、撹拌スピード 7 で調理をおこないます。 パルスを使用するときは、最初にパルススイッチ 🖸 を軽く押して、パルスのモードに切替 えてから、5 秒以内に再度パルススイッチ 😭 を長押ししてください。

本機の防音フードカバーが閉まっていること確認してください。

本機の防音フードカバーが開いている状態で、スライダーコントロールバーやパルススイッチ ⊕ を押しても調理をおこないません。

5秒間、ディスプレイに「The lid is open. Start blender? (防音フードカバーが開いています。撹拌を開始しますか?)」を表示し、決定スイッチ ♥ が点灯します。

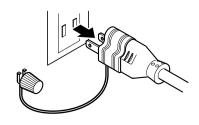
5秒以内に防音フードカバーを閉めるか、決定スイッチ **⊘** を押すと、本機は調理を始めます。

5秒間、何も操作をしないと、調理はキャンセルされます。

撹拌スピードと回転数(回転数は、無負荷時によるものです。)

撹拌スピード 1	2,500r.p.m.	撹拌スピード5	9,900r.p.m.	撹拌スピード9	17,300r.p.m.
撹拌スピード2	4,350r.p.m.	撹拌スピード6	11,750r.p.m.	撹拌スピード 10	19,150r.p.m.
撹拌スピード3	6,200r.p.m.	撹拌スピードフ	13,600r.p.m.	撹拌スピード 11	21,000r.p.m.
撹拌スピード4	8,050r.p.m.	撹拌スピード8	15,450r.p.m.	_	_

10. 調理後は、電源スイッチ ⑥ を押して「OFF」(切)にし、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いてください



11. 防音フードカバーを開けて容器を本体から取り外し、容器蓋を取って調理した材料をカップなどに取り出してください

容器は、取手を持ち、上方に持ち上げると簡単に外れます。

お願い

調理後は、速やかに調理した材料を他のカップなどに移してください。

調理した材料を容器内で保存することは、絶対にしないでください。

調理した材料を長時間入れたままにしておきますと、カッターのシール部に材料が流れ込むことがあります。

容器軸受け内部が錆びる原因になります。

容器軸受け内部が錆びると、回転不良の原因になります。

12. 調理した材料を取り出した後は「お手入れ」(20 ページ)を参照して、容器、 のぞき蓋、容器蓋をきれいに洗浄してください

お願い

本機の専用容器以外は絶対に使わないでください。

専用容器以外のものを使用されますと、故障の原因になります。

容器は別にいくつかお買い求めいただき、容器を交互にご使用くださると容器が長持ちします。

運転中に、機械の移動はおこなわないでください。

本体や容器底(外側)のカップリング部が、破損する原因になります。

本機は、定格時間内でご使用ください。

30分定格とは、30分間は連続して運転できるということです。

ただし、使用上の注意として、その後30分以上は機械を休ませてください。

定格時間 (30 分間) を超えて運転をしますと、モーターが異常に過熱し、モーターの寿命が 短くなったり、機械内部の部品が破損したり、故障の原因になります。

容器底(外側)のカップリング部を回しても、固くて回らなくなった場合や、カッターがぐらぐらする場合は、容器の軸受部が不良になっていますので、その容器は使用しないでください。

そのまま使い続けますと、ディスプレイに「Error: Overload Condition Detected」が表示され、カッターの回転が止まったり、ゴムパッキンが破断したりします。

ゴムパッキンが破断すると、異物として材料に混じって危険です。

お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、本機を長持ちさせるために、次の場合、必ず「お手入れ」 をおこなってください

初めて機械を使用する場合。

調理後、速やかに。

繰り返し使用する場合、30分おき。

⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。

注意



本体の清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを押して「OFF(切)」にし、電源プラグを抜くこと誤って操作スイッチに触れた場合、カッターが回転してケガの原因になります。

漏電、ショート、感電の原因になります。

お願い

容器、容器蓋、のぞき蓋、防音フード、防音フードカバーを洗浄するときは、食器洗浄機などは使用せずに45℃以下のお湯で洗浄してください。

高温洗浄すると変形したり、変色する恐れがあります。

洗浄や清掃をするときは、かたいタワシなどでこすらないでください。 キズがつく恐れがあります。

洗浄後、本機を保管される場合は、各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください。

次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。 部品の劣化、および変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、破損の原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。

やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などを使用して洗浄をおこなう場合は、漬け置きしないで洗浄してください。

洗浄後は、十分すすいでから速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。

塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などに、漬け置きしますと、錆および腐食の原因になります。

除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、無泡性および低発泡性で、厨房設備および調理器具用のものを使用し、入れすぎないようにしてください。

濃度が濃すぎると金属、プラスチック、ゴムの部品を損傷します。

除菌洗浄剤、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

容器、容器蓋、のぞき蓋の洗浄

- 1. 電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いてください
- 2. 防音フードカバーを開け、容器を本体から取り外してください
- 3. 容器から容器蓋、のぞき蓋を取り外してください
- 4. のぞき蓋、容器蓋、容器を洗浄してください

水または温水を流しながら、付着した材料をすすぎ流してください。

お願い

容器底部カップリングには、水がかからないようにしてください。 カッターの回転不良の原因になります。

5. 容器内に、無泡性の除菌洗浄剤を溶かした水を約1/3程度入れて、容器蓋、 のぞき蓋をしっかりと取り付けてください

<u> 注意</u>



容器内を洗浄するときは、容器内に多量の水を入れないこと

カッターを回転させたとき、容器と容器 蓋の間から水があふれ出ることがあり、本体にかかると、漏電、ショート、感電の原因になります。

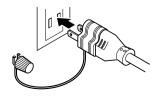
お願い

容器内の洗浄は、無泡性の除菌洗浄剤の使用が望ましいですが、食器用中性洗剤を使用される場合は、容器内に入れる水の量はカッターが漬かる程度にし、食器用中性洗剤も少量入れて、機械を回転させて洗浄してください。

容器内に水を多量に入れますと、回転させたとき容器と容器蓋の間から泡が溢れ出ることがあります。



- 6. 容器を本体に取り付けて、防音フードカバーを閉めてください
- 7. 専用コンセントに、電源プラグ(プラグア ダプター付)を差し込んでください



8. 電源スイッチ ® を押して「ON」(入)にし、プログラムサイクルスイッチ 3を押してカッターを回してください

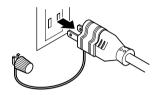
お願い

本機は、粘度の高い飲料のスムージー専用機として作られています。

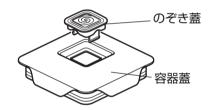
水などの粘度の低いものを入れて撹拌しますと、容器と容器蓋の間から水が漏れて、本体上部や操作スイッチ部にかかることがあります。

水がかかった場合は、すぐに拭き取ってください。

9. カッターの回転が止まりましたら、電源スイッチ ◎ を押して「OFF」(切)にし、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いてください



- 10. 防音フードカバーを開け、本体から容器を取り外し、容器蓋を取り外して、 洗浄剤が入った水をすべて捨ててください
- 11. 容器蓋からのぞき蓋を取り外してくだ さい

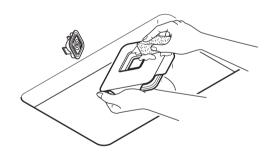


12. のぞき蓋、容器蓋を除菌洗浄剤で、きれいに洗浄してください

のぞき蓋、容器蓋を定められた使用濃度分の 除菌洗浄剤を入れたぬるま湯の中で、布かス ポンジできれいに洗浄してください。

お願い

容器は、水などに浸けないでください。 容器底部のカップリングに水などがかか りますとカッターの回転不良の原因にな ります。

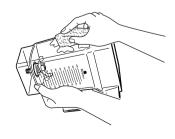


13. 容器の内側と外側は、水と除菌洗浄剤を含ませた布かスポンジできれいに洗浄してください

容器底部のカップリングには、水や除菌洗浄 剤をかけないでください。

お願い

容器は、硬いタワシなどでこすらないでください。 キズがつく恐れがあります。



14. 容器、容器蓋、のぞき蓋を流水で洗剤成分が残らないように充分すすぎ洗いをしてください

容器底部のカップリングには、水をかけないでください。

15. 容器を空の状態で、容器蓋を取り付け てください

> のぞき蓋を容器蓋にしっかりと取り付けてく ださい。



16. 本体に容器をセットし、防音フードカバーを 閉めてください



17. 専用コンセントに、電源プラグ(プラグアダ プター付)を差し込んでください



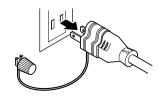
18. 電源スイッチ ◎ を押して「ON」(入) にし、パルススイッチ ⊕ を3秒間押してカッターを回させ、カッターアッセンブリーの水分を取り除いてください

お願い

上記の方法は、分解ができないカッターアッセンブリー内のシール部分を乾燥させるためにおこなうもので、決して3秒以上長く空回ししないでください。

カッターアッセンブリー内のシールが焼き付いて回らなくなるなど、故障の原因になります。

19. 電源スイッチ ® を押して「OFF」(切)にし、 電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いて ください



20. 防音フードカバーを開けて、容器、容器蓋を取り外し、清潔な布で各部品に付着した水分を拭き取り、空気乾燥させてください

企注意



カッターの刃には、直接触れないこと

誤ってカッターの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

お願い

容器内のカッター部分は、すぐに清潔な布で容器の水分を拭き取ってください。 カッター部分に水分がついたまま放置しますと、金属部分が錆びる可能性があります。 金属部分が錆びると、カッターの回転不良の原因になります。

容器蓋などのゴム製品は、完全に空気乾燥させてください。 水分が残っていると、腐食の原因になります。

21. 乾燥した各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください

お願い

保管される場合は、乾燥した場所に保管してください。

本体上面部、本体カバー、防音フードの清掃

▲ 警告

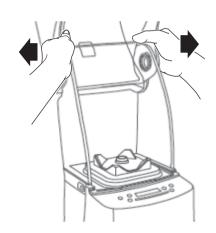


本体に直接水をかけないこと ショート、感電の原因になります。

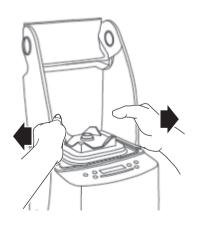
1. コンセントから、電源プラグ(プラグア ダプター付)を抜いてください



- 2. 防音フードカバーを上方に止まるまで開 けてください
- 3. 防音フードカバーのヒンジ部分を少し外側に開いて、防音フードカバーを取り外してください



- 4. 防音フードの下部分を少し外側に開いて、 本体の突起から外し、防音フードを取り外 してください
- 5. 取り外した防音フード、防音フードカバーは、除菌洗浄剤または食器用中性洗剤を使用して、やわらかいスポンジなどで洗浄してください
- 6. 防音フード、防音フードカバーを流水で十分すすぎ洗いした後、水分を拭き取って空気乾燥させてください

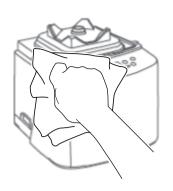


7. 本体上面部、本体カバーは、除菌洗浄剤を入れて溶かしたぬるま湯で布巾を絞り、付着した材料をきれいに拭き取ってください

お願い

本体上部の容器はめ込み盤内のカップリング内には、水が入らないようにしてください。

清掃の際、カップリング内に液体が流れ込むの を防ぐため、布やスポンジを使用する前に余分 な水分を絞り取ってください。



- 8. すすぎ用のきれいな水で絞った布で拭いて、完全に洗剤成分を拭き取って空 気乾燥させてください
- 9. アルコール除菌剤をしみ込ませた布で拭いて除菌作業をおこなってください
- 10. 本体に、防音フード、防音フードカバーを元どおり取り付けてください

お願い

保管される場合は、乾燥した場所に保管してください。

設定モードについて

ここでは、本機の設定モードの変更方法や確認方法についてご説明します

設定モードの一覧表

メインメニュー (Main Menu)	サブメニュー	設定内容 / 確認内容
		Smoothie プログラムをスムージー用に変更します。 (出荷時の設定)
	Standard Profiles プログラムを 4 種類のいづれかに切	Coffee プログラムをコーヒー用に変更します。
Profiles 標準のプログラムを別のプ	│ 替えることができます。 │ (同梱の別資料を参照してください。) │	Multipurpose プログラムを多目的用に変更します。
ログラムに切替えることが できます。		Milkshake プログラムをミルクシェーキ用に変更しま す。
	Custom Profiles お客様が作った調理プログラムが追	で使用方法については、お買上げ店にご相談 ください。
	加可能	で使用方法については、お買上げ店にご相談 ください。
Blend Cycles プログラムサイクルスイッ	Standard Blend Cycles プログラムサイクルスイッチを 43 種類のいづれかに変更することがで きます。 (同梱の別資料を参照してください。)	43 種類の自動変速サイクル(同梱の別資料を参照してください。)
チの自動変速サイクルを切 替えることができます。	Custom Blend Cycles お客様が作った自動変速サイクルが 追加可能	ご使用方法については、お買上げ店にご相談 ください。
		ご使用方法については、お買上げ店にご相談 ください。
	Total 総使用回数が確認できます。	_
	Button 1 プログラムサイクルスイッチ 1 の使 用回数が確認できます。	_
	Button 2 プログラムサイクルスイッチ 2 の使 用回数が確認できます。	_
Cycle Counts	Button 3 プログラムサイクルスイッチ 3 の使 用回数が確認できます。	_
本機の総使用回数や各サイクルスイッチ使用回数が確認できます。	Button 4 プログラムサイクルスイッチ 4 の使 用回数が確認できます。	_
28 ページ参照	Button 5 プログラムサイクルスイッチ 5 の使 用回数が確認できます。	_
	Button 6 プログラムサイクルスイッチ 6 の使 用回数が確認できます。	_
	Pulse Button パルススイッチの使用回数が確認で きます。	_
	Slider Control スライダーコントロールバーの使用 回数が確認できます。	_

メインメニュー (Main Menu)	サブメニュー	設定内容 / 確認内容
	Over Temp.Error	_
	Over load Error	_
Diagnostic Counts それぞれのエラー発生回数	Temp.Sensor Error	_
を確認できます。	Zero Crossing Error	_
サービスマンが確認する内 容です。	Reset Error	_
	Read / Write Error	_
	Motor Control Error	_
USB Flash Drive	Import Profiles	で使用方法については、お買上げ店にご相談
お客様にて調理プログラム	Export Active Profile	ください。
を作成できます。	Export Counts	サービスマンが確認する内容です。
	Enclosure Safety Mode 調理中に防音フードカバーを開ける	Turn ON the enclosure Safety mode? 防音フードカバーを開けると、調理を中断 します。 (出荷時の設定)
	と、調理を中断するモードです。	Turn OFF the enclosure Safety mode? 防音フードカバーを開けても、調理を継続 します。 (安全のため OFF にしないでください)
	Screen Standby 何も操作をしていないと、自動で電源が切れるまでの時間を選択できます。 29 ページ参照	15 minutes 15 分間使用しないと電源 OFF
		1 hour 1 時間使用しないと電源 OFF
		6 hours 6 時間使用しないと電源 OFF
Settings 本機の動作設定を変更しま		12 hours 12 時間使用しないと電源 OFF (出荷時の設定)
ਰ ੇ	Blend Cycle Pause プログラムサイクルモードによる調理中に、再度プログラムサイクルスイッチを押すと、調理を中断するように設定できます。	Turn ON the blend cycle Pause feafure? プログラムサイクルモードによる調理中に、再度プログラムサイクルスイッチを押すと、調理を中断します。もう一度、プログラムサイクルスイッチを押すと、残り時間分の調理をします。
		Turn OFF the blend cycle Pause feafure? プログラムサイクルモードによる調理中に プログラムサイクルスイッチで中断するこ とができないようにします。 (出荷時の設定)
	Slider Lockout マニュアルモードへの切替えができ ないようにします。 31 ページ参照	Turn ON the slider lockout feature? マニュアルモードへの切替えができなくなります。
		Turn OFF the slider lockout feature? マニュアルモードへの切替えができます。 (出荷時の設定)
Blender Info 本機の情報を確認できます。	_	サービスマンが確認する内容です。

総使用回数および各サイクルスイッチ使用回数を確認する方法

本機は、総使用回数と各サイクルスイッチの使用回数を確認することができます。ここでは、総使用回数と各サイクルスイッチの使用回数の確認方法について説明します。

1. 電源スイッチ ⊚ が「ON」(入)の状態で、キャンセルスイッチ ⊗ を 3 秒 間長押ししてください

スクロールスイッチ ⑦ と、決定スイッチ **⊘** が点灯します。

ディスプレイには右のように表示されます。

Standard Profiles Menu 1.Smoothie
2.Coffee

2. スクロールスイッチ ⊙ を押して「3.Cycles Counts」を選択し、決定スイッチ ⊙ を押してください

>3.Cycles Counts
4.Diagnostic Counts

ディスプレイには右のように表示されます。

Cycle Counts Menu-

1.Tótal: 91 2.Button 1: 10

3. スクロールスイッチ ⊙ を押して確認したい使用回数を表示してください

Total ……本機の総使用回数

Button 1 ………… プログラムサイクルスイッチ 1 の使用回数 Button 2 ……… プログラムサイクルスイッチ 2 の使用回数 Button 3 ……… プログラムサイクルスイッチ 3 の使用回数 Button 4 …… プログラムサイクルスイッチ 4 の使用回数 Button 5 …… プログラムサイクルスイッチ 5 の使用回数 Button 6 ……… プログラムサイクルスイッチ 6 の使用回数

Pulse Button ……パルススイッチの使用回数

Slider Control ……… スライダーコントロールバーの使用回数

4. 調理モードに戻ってください

キャンセルスイッチ ⊗ を2回押して調理モードに戻ってください。

自動で電源が切れるまでの時間を変更する方法

電源スイッチ ⑥ が「ON」(入)の状態で、12時間使用していないと、自動で電源スイッチが「OFF」(切)になります。

ここでは、設定時間の変更方法について説明します。

1. 電源スイッチ ⊚ が「ON」(入)の状態で、キャンセルスイッチ ⊗ を 3 秒間長押ししてください

スクロールスイッチ **②** と、決定スイッチ **②** が点灯します。 ディスプレイには右のように表示されます。

Standard Profiles Menu -1.Smoothie2.Coffee

2. スクロールスイッチ ⊙ を押して「6.Settings」を選択し、決定スイッチ ⊙ を押してください

Main Menu –6.Settings7.Blender Info

ディスプレイには右のように表示されます。

>1.Enclosure Safety Mode 2.Screen Standby

スクロールスイッチ ⊙ を押して「2.Screen Standby」を選択し、決定スイッチ ⋈ を押してください

Settings Menu—
>2.Screen Standby
3.Blend Cycle Pause

ディスプレイには右のように表示されます。

−Screen standby is 12 hours− >15 minutes 1 hour

4. スクロールスイッチ ⊙ を押してお好みの時間を選択し、決定スイッチ ⊙ を押してください

15 minutes…… 15 分間使用しないと電源 OFF 1 hour ……… 1 時間使用しないと電源 OFF 6 hours ……… 6 時間使用しないと電源 OFF

12 hours …… 12 時間使用しないと電源 OFF (出荷時の設定)

ディスプレイには右のように表示されます。

(15 minutes を選択した場合)

Screen standby is 15 minutes
 15 minutes
 1 hour

5. 調理モードに戻ってください

キャンセルスイッチ ⊗ を3回押して調理モードに戻ってください。

調理中に、調理を一時中断できるように設定する方法

プログラムサイクルモードによる調理中に、プログラムサイクルスイッチを押すと、調理を一時中断するように設定できます。

ここでは、調理中に、調理を一時中断できるようにする設定方法について説明します。

電源スイッチ ⊚ が「ON」(入)の状態で、キャンセルスイッチ ⊗ を 3 秒間長押ししてください

スクロールスイッチ **②** と、決定スイッチ **②** が点灯します。 ディスプレイには右のように表示されます。

−Standard Profiles Menu − >1.Smoothie 2.Coffee

2. スクロールスイッチ ⊙ を押して「6.Settings」を選択し、決定スイッチ ⊙ を押してください

Main Menu -6.Settings7.Blender Info

ディスプレイには右のように表示されます。

Settings Menu
>1.Enclosure Safety Mode
2.Screen Standby

3. スクロールスイッチ ⊙ を押して「3.Blend Cycle Pause」を選択し、決定スイッチ ⊘ を押してください

Settings Menu—
>3.Blend Cycle Pause
4.Slider Lockout

ディスプレイには右のように表示されます。

Blend cycle pause is OFF. Turn ON the blend cycle pause feature?

4. 決定スイッチ ⊘ を押して切替えてください

Turn ON the Blend cycle pause feature?

プログラムサイクルモードによる調理中に、プログラムサイクルスイッチを押すと、調理を中断するようにします。

Turn OFF the Blend cycle pause feature?

プログラムサイクルモードによる調理中に、プログラムサイクルスイッチを押しても、調理を中断しないようにします。

ディスプレイには右のように表示されます。 (「Turn ON the Blend cycle pause feature?」を選択した場合)

Blend cycle pause is ON. Turn OFF the blend cycle pause feature?

5. 調理モードに戻ってください

キャンセルスイッチ ⊗ を3回押して調理モードに戻ってください。

マニュアルモードへの切替えをおこなえなくする方法

マニュアルモードへの切替えをおこなえないようにすることができます。ここでは、マニュアルモードへの切替えをおこなえなくする設定方法について説明します。

1. 電源スイッチ \odot が「ON」(入)の状態で、キャンセルスイッチ \otimes を 3 秒間長押ししてください

スクロールスイッチ **⑦** と、決定スイッチ **⊘** が点灯します。 ディスプレイには右のように表示されます。

Standard Profiles Menu ->1.Smoothie 2.Coffee

2. スクロールスイッチ ⊙ を押して「6.Settings」を選択し、決定スイッチ ⊙ を押してください

——— Main Menu ->6.Settings 7.Blender Info

ディスプレイには右のように表示されます。

Settings Menu
>1.Enclosure Safety Mode
2.Screen Standby

スクロールスイッチ ⊙ を押して 「4.Slider Lockout」 を選択し、決定スイッチ ⊙ を押してください

>4.Slider Lockout
1.Enclosure Safety Mode

ディスプレイには右のように表示されます。

Slider lockout is OFF. ->Turn ON the slider lockout feature?

4. 決定スイッチ ⊘ を押して切替えてください

Turn ON the slider lockout feature? マニュアルモードへの切替えができないようにします。

Turn OFF the slider lockout feature? マニュアルモードへの切替えができるようにします。

ディスプレイには右のように表示されます。 (「Turn ON the slider lockout feature?」を 選択した場合)

— Slider lockout is ON. >Turn OFF the slider lockout feature?

5. 調理モードに戻ってください

キャンセルスイッチ ⊗ を3回押して調理モードに戻ってください。

調理モードで、操作スイッチ部のモード切替えスイッチが消灯した状態になり、マニュアルモードへの切替えがおこなえなくなります。

故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買い上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の電源スイッチを「OFF」(切)にし、電源プラグを抜いて、早急にお買い上げ店までご連絡ください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

状 態	確認 / 症状	手 当
	電源プラグが抜けていませんか?	電源プラグが抜けている場合は、コンセントに接続されているプラグアダプターに、電源プラグを差し込んでください。
電源スイッチを押しても電源が 「ON」(入)にならない。	操作スイッチ部が汚れていませんか?	操作スイッチ部の汚れや付着した材料 を拭き取ってください。
	停電ではありませんか?	通電するのを待ってください。
	操作スイッチ部の故障の可能性があ ります。	お買上げ店へ連絡してください。
	操作スイッチ部が汚れていませんか?	操作スイッチ部の汚れや付着した材料 を拭き取ってください。
	操作スイッチ部の故障の可能性があ ります。	お買上げ店へ連絡してください。
スライダーコントロールバー、 またはプログラムサイクルス イッチを押しても動作しない。	ディスプレイに「The lid is open. Start blender?」と表示され、決 定スイッチ ✔ が点灯していません か?	5秒以内に防音フードカバーを閉めるか、決定スイッチ ◆ を押すと、本機は調理を始めます。 5秒間、何も操作をしないと、調理はキャンセルされます。 調理がキャンセルされた場合は、防音フードカバーを閉めた状態で、スライダーコントロールバー、またはプログラムサイクルスイッチを押して、調理を始めてください。
	丈夫な所に設置していますか?	丈夫な場所に設置してください。
容器部から異常音が発生する。	据え付けが悪く、がたついていませんか?	水平で平らな場所に据え付けてください。
	本機に何か触れた状態になっていま せんか?	接触しているものを取り除いてください。
	容器蓋、容器が正しくセットされて いますか?	容器蓋、容器を正しくセットしてくだ さい。
	モーターのカップリング不良の可能 性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
	容器軸受け不良	お買上げ店へ連絡してください。

状 態	確認 / 症状	手 当
モーターから異常音が発生する。 回転振動が大きい。	モーター不良 モーター軸受け不良	- お買上げ店へ連絡してください。
ディスプレイに 「Error: Overtemp.Condition Detected」 が表示されて回転が止まる。	モーターが過熱状態になっている。	モーターが冷めるまで待ってください。 モーターが冷めれば使用可能になりま す。
ディスプレイに 「Error: Overload Condition Detected」 が表示されて回転が止まる。	モーターに過負荷がかかっている。	電源スイッチを{OFF」(切)にして、電源プラグを抜いてから、過負荷の原因を取り除いてください。プログラム運転の途中で止まった場合は、過負荷原因を解除してもプログラムの続きの動作はしませんので、再度、選択スイッチを押して最初から調理してください。
ディスプレイに下記のメッセージが表示されて回転が止まる。 「Error: Temperature sensor not detected」 「Error: Zero crossing not detected」 「Error: Reset error detected」 「Error: Read/write error detected」 「Error: Motor control Error Detected」 「Error: Touch Controller Not Detected」 「Error: Touch Controller Output Is Invalid」		一度、電源プラグを抜いて、再度電源 プラグを差し込んでください。
回転むらがある。	-	お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる。	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF (切)」になっていませんか?	漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店に連絡してください。レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグが異常に熱 くなる。	_	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電 したり、しなかったりする。	-	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったり する。	_	お買上げ店へ連絡してください。

メニューバリエーションの例

スムージーとは……

スムージーとは、フルーツや野菜、乳製品、氷などを強力なミキサーで撹拌して作る、冷たく滑らかで必須栄養素を摂取できる一種の飲む食事のことです。

スムージーは、使う材料によってバリエーションが非常に豊富、かつ手軽でヘルシーな食品です。

おいしいスムージーを作るポイントは、新鮮な完熟したフルーツを選ぶことができるかによって、風味の良し悪しが決まるといっても過言ではありません。

名称の語源はネットリとした滑らかな食感を表す「SMOOTH」からきており、もともとはアメリカ南部で飲まれていたネクターが変化したものともいわれています。

ご参考までに、メニューバリエーションの一例をご紹介いたします。

※材料の状態によって分量が変動しますのでご注意ください。

クッキー&クリーム	パイン・ココナッツ	クラシック
材料 バナナ・・・・・50g ヨーグルト・・・・30g バニラアイス・・・・30g 作乳・・・・・30g ガムシロップ・・・・20g チョコチップ・クッキー・・20g 氷(チップアイス)・・・60g	材料 ココナッツパウダー 5g ヨーグルトドリンク120g バニラアイス 21g 冷凍パイナップル 60g レモン果汁 5g 氷(キュウブアイス)80g	材料 オレンジジュース120g 冷凍いちご (カット)60g バナナ (冷凍スライス)…100g

ベリー・ベリー	ストロベリー・オレンジ	マンゴ・オレンジ
材料 冷凍いちご	材料 冷凍いちご(解凍)70g オレンジジュース60g ガムシロップ40g 氷(チップアイス)60g	材料 マンゴ

抹茶ミルク	バナナ・チョコ	アイスカプチーノ
材料 抹茶蜜······80g 牛乳······60g 抹茶アイス······35g 氷(チップアイス)······80g	材料 バナナ	材料

仕様

品 名		スムージーブレンダー"ステルス"					
型	式	STEALTH					
夕	形寸法	幅 220・奥行 235・高さ 440mm (防音フードカバー開時:奥行 380・高さ 620mm)					
電	源	100V 50 / 60Hz					
電	流	14.5 A (定格 30 分)					
消	1 費 電 力	1.3 kW					
] 転数	プログラム:2,100~21,000r.p.m.(スピード:10 段階) 無負荷時マニュアル:2,500~21,000r.p.m.(スピード:11 段階) 無負荷時					
	防音フード	トリタン					
	防音フードカバー	トリタン + EPDM					
材	本体カバー	ポリカーボネイト					
	容器蓋	シリコンゴム					
	のぞき蓋	トリタン 質量: 600g					
質	容 器	トリタン 貞里 : 000g					
	カッター	ステンレス SUS304					
	本 体	ポリカーボネイト					
容	器取付方法	はめ込み式					
容	器 容 量	2.2 L					
処	理 容 量	最大:0.95 L、最小:0.2 L					
電	源コード	長さ:2 m (プラグアダプター付)					
質 量		7.4 kg(本体 6.6 kg + 容器·容器蓋 0.8 kg)					

お願い

本機では、45℃を超える熱い材料や、調理中に 45℃を超える材料は調理しないでください。 容器が、変形したり、変速したりする可能性があります。

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

梱包内容一覧

梱包箱には、次のものが入っています。足りない場合は、お買上げ店へ連絡してください。

本体(防音フード、防音フードカバー付き)	1個					
容器						
容器蓋(のぞき蓋付)						
プラグアダプター	1個					
取扱説明書(本書、保証書付) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1∰					

商品保証書

《本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証期間経過後の修理等につきましては、お買上げ店にご相談ください。》

保証期間

保証の効力は、商品お買上げと同時に発生いたします。 その期間は、1年間有効とし、機器本体を対象とします。

保証規定

- 1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、お買上げ店へご連絡ください。弊社にて「無料修理」いたします。
- 2. 保証期間内でも次の場合には「有料修理」となります。
 - 1) ご使用上の誤り、および製品の改造や不当な修理により発生した故障および損傷。
 - 2)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧その他の外部要因による 故障および損傷。
 - 3) 車輌、船舶に搭載して使用された場合の故障および損傷。
 - 4) お買上げ後の転倒、落下や取付場所の移動などによる故障および損傷。
 - 5) 本書の提示がない場合。
 - 6)本書にお客様名、お買上げ年月日、お買上げ店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 7) 指定外の使用電源(電圧、周波数)の使用による故障および損傷。
 - 8) 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 9)消耗部品(容器、ゴムパッキン、容器蓋、のぞき蓋)は、保証の対象範囲から除外させていただきます。
- ※ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げ店にお問い合わせください。

修理対応期間(補修用性能部品の保有期間)

当社では、本製品の修理対応期間(補修用性能部品の保有期間)を販売打ち切り後8年とさせていただいております。

修理対応期間(補修用性能部品の保有期間)を終了している場合は、修理のご依頼をお受けできないことがあります。

i i	品 名		スムージーブレンダー"ステルス"									
型	业 式		S	STEALTH		製	造番号					
お客様	で芳名					,			様			
	ご住所	Ŧ				TEL.		()			
お買上げ店	店名・住	听										
お買上げ日			年	月	日	無料修理保証期間		期間	お買上げ日より1年間			

株式会社エフ・エム・アイ

京:〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521 大 阪: 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel. 06(6969)9393 営業所札幌: 〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel. 011(813)8651 仙 台: 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel. 022(238)5711 名古屋: 〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel. 052(361)7891 広島: 〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel. 082(876)1855 福 岡:〒812-0839福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel. 092(481)2931 出張所 北陸:〒921-8027金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810 沖 縄: 〒901-2214 宜野湾市我如古 1 丁目54番21号 Tel. 098(870)2766 盛 岡:〒020-0124盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390 フェーション 四 国:7768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161 鹿児島: 〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel. 099(263)8281 東京修理工場:〒130-0011東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ http://www.fmi.co.jp/